

福島大学・福島県立医科大学
東京シンポジウム

ほんとの空が戻る日まで

— 福島の復興と地方創生 —

10月7日(水) プレス発表

福島大学が県外で震災・原発事故に関するシンポジウムを実施する目的は・・・

- ・ 福島を正しく知る
- ・ 福島を想う
- ・ 地域で活かす

- ・ 市民
- ・ 学生
- ・ 行政職員
- ・ 福島県から避難している方々

伝える

- 科学的裏付け
- 利害関係のない中立性

風化する震災・原発事故の記憶

福島の経験を次に活かす

風評被害との闘い

負の面が目される福島の現状



地域の中核的な知の拠点

平成25年9月24日(火) 13:30～
会場:東京・秋葉原ダイビル

企業・経済界は被災地の復興に何ができるのか

日時 平成25年9月24日(火) 13:30～16:30
会場 東京・秋葉原ダイビル 五階カンファレンスフロア

プログラム

- 1 月夜 史記 (福島大学つくしまふくしま未来支援センター 地域復興部専門員)
- 2 入野 修 (福島大学)
- 3 「大震災・原発事故とこれからの日本」 講師 国際公共政策研究センター 理事 田中 直毅 氏
- 4 「企業・経済界は被災地の復興に何ができるのか」

コーディネーター 松本 博 氏 (公益社団法人経済同友会 副会長、東京大学経済学部の教授)

シンポジスト 松本 博 氏 (公益社団法人経済同友会 副会長、東京大学経済学部の教授)、佐々木 浩平 氏 (公益社団法人経済同友会 代表理事)、高木 孝 氏 (福島大学つくしまふくしま未来支援センター 専任講師)

主催 福島大学つくしまふくしま未来支援センター
後援 復興庁、福島県、公益社団法人経済同友会、毎日新聞社
協賛先 福島大学つくしまふくしま未来支援センター
TEL: 024-504-2865 FAX: 024-504-2865
E-mail: fup@fukushima-u.ac.jp

- ・ 震災復興における企業・財界の役割を問う



参加者130名

記念講演
「大震災・原発事故とこれからの日本」
講師 国際公共政策研究センター 理事長 田中 直毅氏

平成26年3月8日(土) 12時30分～
会場:大阪大学中之島センター

大阪大学の協力により開催

関西からできること
ささよう日本

- ・ 関西からの支援に感謝
- ・ 福島の経験を生かす (南海トラフ地震に備える)
- ・ 福島の今を伝える



参加者230名

基調講演
「未来の世代のために
—復興支援と大学の責任—」
講師 前大阪大学総長
現京都市立芸術大学理事長・学長
齋田 清一氏

平成27年3月8日(日) 12時～
会場:立命館大学朱雀キャンパスホール

立命館大学の協力により開催



・ 歴史的繋がり強い京都で福島の今を伝える
・ 福島の風評との闘いを伝える



参加者318名

基調講演
「誰もが発信できる時代 福島の今を丁寧に世界に伝えるために」
講師
ジャーナリスト(元NHKアナウンサー)
堀 潤氏

参加者からの感想

「未来を信じ、未来を生きること」と「過去や現在の課題に向きあうこと(正すこと)」にどちらも取り組むことは希望という車の両端だと強く感じました。ありがとうございます。

2080年、2100年…将来、福島がお母さんにやさしい県、NO.1、子どもを産み育てたい地域NO.1に選ばれるような、うつくしくて温かい環境にできたら、それは東北だけでなく全国にとって、宝物みたいなモデルになると思います。

これまで知る機会がなかった農産物の検査や、生産者の方の真摯な取り組みに感心いたしました。これから心より応援のつもりで買う、行く、働くを実践したいと思います。また4年と言わず定期的な開催を希望いたします。

福島の方々のご苦勞が今まで以上に理解を深める事が出来ました。今までの考え、行動が変わると思います。関西人として今後我が身にふりかかる問題ではないか、色々と学ばせていただきました。ありがとうございました。福島の方々がいかに全国の人に伝えたい、知ってほしい、学んでほしいとの気持ちが良く伝わりました。私自身が今日の内容を語っていきます。

平成27年11月8日(日)13時～
会場:一橋大学一橋講堂

主催 国立大学法人福島大学
公立大学法人福島県立医科大学

ほんとの空が戻る日まで
- 福島の復興と地方創生 -

開催目的

災害弱者の孤立化、震災関連死等の問題は、今後少子高齢化社会が激化する諸課題と共通性を持つ。

そうした諸問題が、福島では東日本大震災及び原発事故で急速に表面化した。

福島の現状を把握し、復興の過程で得られる経験は、今後の地方復権・創生で役立つものであると考える。震災、原発事故から何を学び何から始めなければならないのか、市民等に課題を提起し探究する。

I部 特別鼎談(ていだん) 「未来を拓く開拓者たち ～復興と人づくり・地域づくり」



小泉 進次郎氏

衆議院議員
ふたばの教育復興応援団

糸井 重里氏
ほぼ日刊イトイ新聞主宰



表紙 福島高校の生徒



開沼 博

うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員

Ⅱ部 福島現状報告

うつくしまふくしま未来支援センター報告 中田スウラ FUREセンター長
 福島県立医科大学報告 谷川攻一 福島県立医科大学副学長
 FURE食・農復興支援担当報告 小山良太 FURE副センター長
 FURE放射能汚染対策担当報告 塚田祥文 FURE部門長

※FURE 福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの略



8

Ⅲ部 パネルディスカッション 「福島の復興と地方創生」

- ▶ モデレーター
 山川 充夫氏 帝京大学教授(福島大学名誉教授)
- ▶ パネリスト
 清水 潔氏 明治大学特任教授・元文部科学事務次官
 齋藤 喜章氏 特定非営利活動法人ふくしま飛行協会理事長
 高島 宏平氏 オイシックス株式会社代表取締役社長
 竹之下 誠一 福島県立医科大学復興担当理事
 本多 環 FURE子ども・若者支援部門特任教授

9

ほんとの空が戻る日まで —福島復興と地方創生—

2015年
11月8日(日) 13時～

会場:一橋大学 一橋講堂

参加募集人数 450名
事前申し込み制

参加費無料

主催:国立大学法人福島大学、公立大学法人福島県立医科大学
 後援団体(予定):文部科学省、復興庁、福島県、双葉地方町村会、経済同友会、
 日本放送協会福島支局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、
 テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM
 朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞
 福島民報社、福島民友新聞社

協力:国立大学法人一橋大学、株式会社伊藤園

終わり

10